

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成22年3月22日（月）～3月28日（日）〔平成22年第12週〕の感染症発生状況

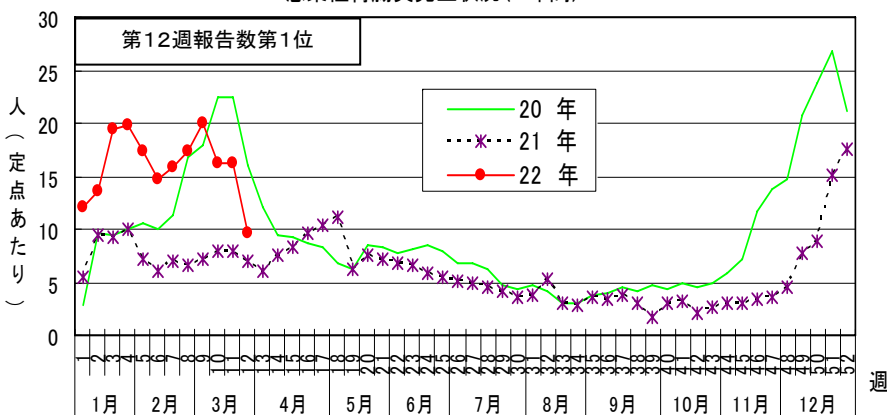
第12週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。

感染性胃腸炎が定点あたり9.63人と患者報告数は大きく減少しました。

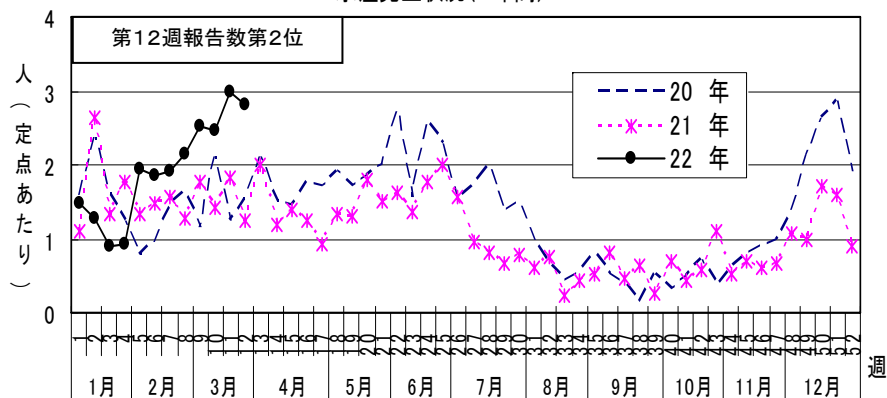
水痘は定点あたり2.81人で、特に高津区と宮前区で報告が多く、流行発生注意報基準値（定点あたり4人）を超えています。

インフルエンザは、定点あたり0.19人と9週連続で報告数が減少しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



## 水痘に気をつけましょう！！

川崎市内において、2月以降、グラフにあるとおり水痘（「みずぼうそう」とも呼ばれます）の報告数が、市内過去5年平均・全国・神奈川県に比べて高いレベルで推移しています。まもなく新学期が始まりますので、他の感染症とあわせて、感染予防を徹底しましょう。

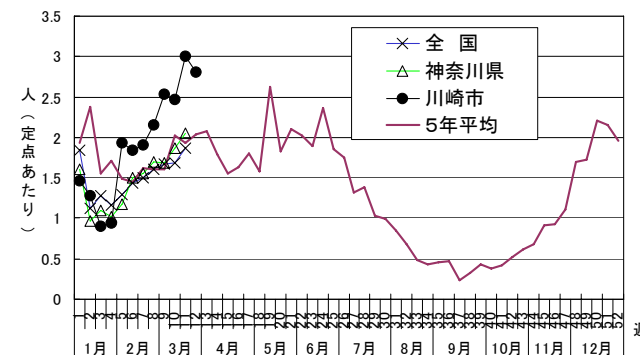
### \* 症状

潜伏期間（2～3週間）を経過した後に、軽い発熱・倦怠感・赤い発疹等の症状がでます。発疹（お腹、背中や顔に発疹数200～300もしくはそれ以上）は水疱となり急激に全身に広がります。水疱は3日程度で乾燥し、黒褐色のかさぶたとなります。細菌性の2次感染をおこさなければ、通常は痕（あと）が残りません。

### \* 気をつけたいこと

水疱中のウイルスを含む飛沫や飛沫核による空気感染をおこします。感染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上です。最初の水疱が現れる1～2日前から、すべての水疱がかさぶたになるまでは、他の人に感染をおこすことがありますので、感染したら、職場や学校を休んで、通院以外の外出は控えましょう。

水痘発生状況(3年間)



## おしらせ

予防接種について  
 予防にはワクチンを接種することが有効です。通常は、1歳から接種できますが、任意接種（有料）ですので、かかりつけの医師に相談しましょう。